

自治 温故創新
考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 5月号
令和5年5月9日
西東京市立田無第三中学校

一カ月が過ぎて

校長 東山 信彦

新年度開始以来、慌ただしい日々が続きましたが、GWを挟んで、一息ついたところです。

そうはいつても、今週末には、定期考査が控えており、さらにその先には、「令和5年度大運動会」も控えています。今月も充実の中学校生活を味わってほしいです。



先月28日には、離任式がありました。離任式では、三中から去られた先生方より、心のこもった挨拶をいただきました。惜別の思いとともに、三中生の進むべき道をしっかりと示していただき、最後の最後まで三中の先生としてご指導いただきました。ありがとうございます。

また、離任式に臨む生徒の態度も立派でした。離任される先生に贈る言葉には、感謝とユーモアがあり、離任される先生から受け取る言葉には真剣にまなざしを向ける、「離任式」という場にふさわしい、メリハリのある態度で式を支えました。最後の校歌合唱では、3年ぶりの全校合唱にも関わらず、すばらしい歌声で体育館を充たすことができました。離任される先生方も、その歌声に背中を押され、安心して、本校



を巣立つことができたとと思います。

〇〇 〇〇副校長



3年前にここに来ました。ここに来ると懐かしいです。ここに来たか
いがありました。今は赤塚二中で副校長をやっています。板橋区は近い
ようで結構遠く、みんなにはなじみのないところかもしれません。どん
な学校かと言えば、教科センター方式といって、生徒は、国語の教室、数
学の教室と、教科ごとに移動して授業を受けます。そんな学校の中で一
か月やって、やっと慣れてきたところです。ただ、その中で不満もあり
ます。挨拶が違う。三中生ほど挨拶をしてくれません。

そこで、早速全校朝礼では、三中をイメージして「挨拶の活発化」について話をしました。本気で三中を目指しています。皆さんは、三中はそういう学校だと意識してください。

「温故創新」のスローガンのもと、新しい三中を創っていいってください。

〇〇 〇〇先生



久しぶりに門をくぐると懐かしいです。家に帰ってきたようです。私
は江東区の深川五中に異動し、1年生の担任となり日々奮闘しています。
ウオーターフロントの豊洲にはタワーマンションがそびえ立っていて、
最初はとんでもないところに来てしまったと思いました。中には40階
に住んでいる教え子もいます。西東京とは全然違うなあと思っていま
したが、一カ月たつと、西東京の子も、豊洲の子も、一生懸命頑張ろうと

する姿は変わらないなあと思うようになりました。

ただ、やはり挨拶が違う。今は、挨拶をしてくれる子がほとんどいません。それに負けたくない、こちらから挨拶しても半分ぐらいしか返ってきません。三中が最初の学校だったから、あたりまえだと思っていたことが、あたりまえではない。すごいことを三中の生徒がやっていると思ってほしい。挨拶・礼の所作、圧倒的に三中がいいです。

あと、挨拶に限らず「温かいな」と思いました。一つだけここで学んで、大切にしていることを伝えて去りたいなと思います。私は人に恵まれてきた人生だったなど。振り返って、君たちの授業の雰囲気だったり、職員室の関係だったり、人のつながりの中で育ってきました。皆も、自分から関わりたいという思いをもっていけば、人とつながっていける。いい関係を結べると思っています。三中の温かさに触れられてよかった。次の場所でも頑張っていきます。

〇〇 〇〇先生



お久しぶりです。感慨深いです。4月6日の新しい学校での着任式の日、三中の子たちもちゃんとやっているのかなと思っていました。そして、比べてしまいました。声も、姿勢も、挨拶も、礼も違うなど、異動して改めて良い学校だったなと思います。

私は常々「応援される人になってほしい」と言ってきました。

Aさん。私が頼みごとをしたら、いつもどう返事をしていますか？

Aさん：「はい。喜んで！」私は頼みごとをしたとき、相手にいやな顔をされると、もう頼みたくなくなってしまいます。

B先生！先生は昨年度がんばりました。すごかったです。今、謙虚な気持ちを持ち続けていますか？

B先生：「はい！」

皆さんも、謙虚な姿勢も忘れないでほしいです。

1年生も、今、2・3年生の姿勢を見てどれだけすごいかがわかなと思います。1年生は学んでほしい。2・3年生は背中で教える学年であり続けてほしいです。

〇〇 〇〇先生



緊張していますが、最後のお仕事として頑張ります。3年生になった皆さんに会いたくて来ました。ついに3年生になったのだなと実感しました。

この一か月、皆さんはどんな様子なのかなあと心配していました。いろいろなことを思って過ごしてきました。今、私は、午前はちょこっと英語の先生、午後は母親をやっています。心がけていることは「元気に挨拶していこう」です。2年間みんなに声をかけてもらって、力をもらってきました。だからみんなに恩返しできるように、挨拶を元気に頑張っています。

中学生活、苦しいことはいっぱいある。一つ思っしてほしいこと。「苦しいことは長くは続かない、終わりが必ず来る。」「冬は必ず春になる。」今は苦しい人。でも、必ず終わる時があります。頑張っしてほしいです。

3月に〇〇先生が「自分は頑張った」と言った言葉が印象に残っています。「自分も頑張ったな」と自分を認めてほしいです。ただ、そうできない人もいます。マイナス思考になりがちな人。そういう人には、周りがぐっと持ち上げてほしい。自分も子育てが大変だけれど、みんなを目標に頑張っていきます。

〇〇 〇〇先生



今は家の方にいます。大学卒業後すぐに先生となり、楽しい時をずっと過ごして来ました。最後の中学が田無三中で、忘れられない生徒・学校になりました。夢をもって生きてほしいです。やってみたい、行ってみたい、できるようになりたい。大きなものでなくていい、夢をもって、大事にしてほしい。例えば韓流のアイドルが好きなら、韓国に行ってみたい、韓国語を学習したいみたいなこと。なかなかそれがかなわない、どうせ無理と手を放してしまうこともあるかもしれません。でも、「やってみたい。ただ今はできないけれど・・・」、ならば、今何ができるかなと考える日々にしてほしい。それが日々の力となります。

三中の礼、挨拶は温かく、おだやかで、すてきなあいさつができる学校だと思います。このいい学校をもっといい学校にしてほしい。応援しています。

〇今年も大運動会への取り組みが始まります。



今月1日の全校朝会后、運動会実行委員長より実行委員の紹介がありました。委員一人一人から、運動会に向けての力強い意思表示があり、それにこたえる大きな拍手がありました。今年の運動会のスローガンは「一戦勝輝」(一戦一戦勝利を目指して全力で戦い、輝こう)だそうです。委員の皆さんのリーダーシップのもと、運動会の取り組みの中で、切磋琢磨お互いに磨き合って、一層輝いてください。

ただ、運動会に注力できるのも、日常の学校生活が、「温かく、活気ある日々」あつてのことです。

大きな行事への取り組みと並行して、安定した学校を生み出す、地道な活動も続けていくことが肝心です。朝の挨拶から始まる、三中の生活も大事にしていきましょう。

〇2日には生徒総会がありました。



久しぶりの全校生徒一堂に会しての生徒総会となりましたが、生徒会役員をはじめとする生徒達の入念な下準備に支えられ、充実の総会となりました。

入場の段階から、終了宣言まで、生徒の力で運営されたことや、役員・委員長・質問者それぞれがそれぞれに緊張感を保ちながら、自分の役割をしっかり果たしていく様子は、見学していても大変に見ごたえがありましたし、内容についても、議論に耐えられる提案と、質疑応答になっていて、感心しきりでした。その後の、学級目標の披露でも、それぞれの学級の目指そうとする目標が、しっかりとスローガンとそれを説明する言葉から明らかにされており、各学年・各学級の前に進んでいこうとする強い意志が伝わってきました。

新しい年度が始まって、まだ一カ月ですが、新しい三中が、生徒の手によって確実に動き出していることが感じられたひと時でした。

